



第23回オリンピック冬季競技大会が終わりましたね
羽生結弦、高木美穂、高木菜那、佐藤綾乃、菊池彩花選手はじめ
多くの日本人が活躍し、獲得メダル数と入賞者数が過去最多となり
日本人として誇りに思い、また楽しませて頂きました
3月9日から18日まではパラリンピックが開催されます

3月に入り春が訪れます
桜の花が咲く頃を迎え、温かさが身近に感じられる一方
今年度が終わりに近づき企業にとっては何かと忙しい時期に入りました
世界では北朝鮮問題、米国トランプ大統領のロシア疑惑、中国の拡張主義など
たくさんの問題が山積みされています
日本経済では超低金利政策やデフレから脱却できるのか
また企業にとって人材不足の解消問題や賃金の問題
社会面では東電の問題などなど問題に事欠きません
3月決算の企業様には良き決算が出来ますようお祈り申し上げます

～3月掲載内容～

- *人 材
- *日銀人事～黒田総裁
- *韓 国～冬季オリンピック後は!?
- *日本対韓国
- *平昌オリンピック

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

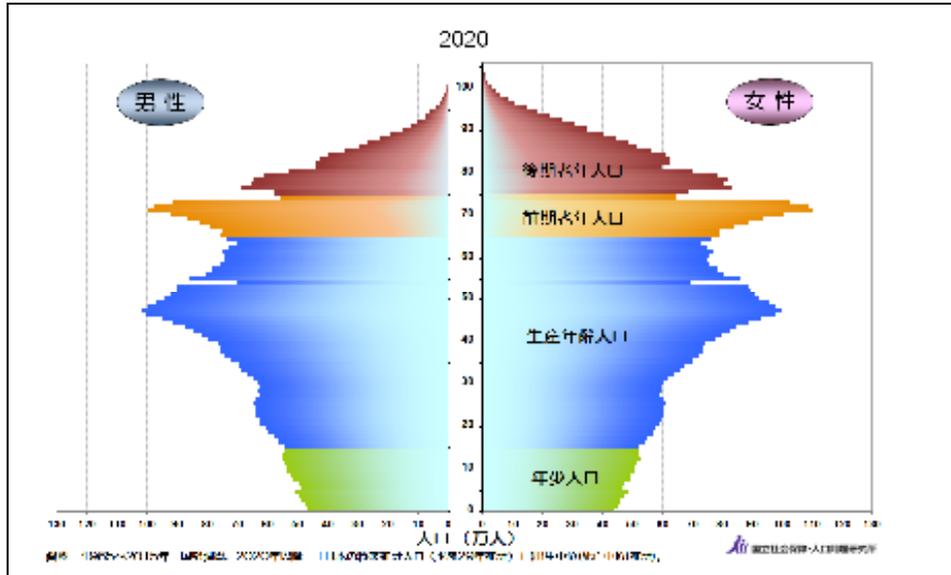
人 材

人材不足の原因)

人材不足は今に始まったことではありませんが、中小企業や地方の人材不足は顕著です。中小企業基盤整備機構が行ったアンケートでは74%が人材不足であり、そのうち約20%が「かなり深刻」だとしています。ではなぜ人材が不足しているのでしょうか？

簡単に言うと働ける人口(労働力)が減少しています。次々に歳をとり退職しこれを賄う人がおらず、特に若者の絶対数が少なくなっているのです。

それでは将来どうかと言うと、2020年の推計では生産人口を65歳としてみると減少の一途を辿っています。



このグラフを見れば65歳未満を生産年齢人口とすると年々減少しています。60歳を生産年齢人口とすると男女共に加速度的に労働人口が減少しています。

政府や企業は定年を上げる政策をとっているようですが、所詮人間は老いるものなのでどうしようもありません。政府ではこれを解消する為に、発展途上国の若い力を借りる政策が実施或いは検討しています。

外国人労働者確保の政策)

日本国内の若い世代の絶対数が減少の一途を辿っている事を踏まえ、労働力確保の為に政府、企業とも躍起になっています。

2月20日、安倍首相は経済諮問会議で外国人労働者の受入れ拡大を検討するように指示しました。首相指示を受けて菅官房長官と上川法相を中心に具体策を詰め、既存の資格のうち専門・技術分野を優先して見直す方向です。早ければ今秋の臨時国会で入管法改正を目指す意向です。

経営・管理・医療・技術・人文知識など18種類ある専門的・技術的分野の在留資格を人手不足の業種に合わせて拡大し、実務経験など専門性を有する評価要件を緩め外国人を働きやすくし、介護や農業など構造的に人材が不足している業種を特定し受入れを容易にする事を検討するとしています。

企業にしてみれば大事な事は若い人材の確保、優秀な人材の確保です。日本国内ではこの絶対数が少ない為に広く海外に求めなければなりません。日本国内、まして地方都市となれば尚更保守的で「外国人が怖い」或いは「従来から雇用している日本人との間に摩擦が出来る」「習慣が違う」などと外国人労働者を受入れる事に躊躇してきました。今となってはそういう事を言っている場合ではありません。そもそも人そのものが足りずどうする事も出来ず、今まで躊躇していた人たちも

今になって気付く企業が増えてきています。

それでは外国人労働者は増えてきているのでしょうか？

外国人労働者の雇用条件)

2017年10月末時点、日本で働く外国人は約128万8670人で前年同期から18%増で5年連続増加し、企業の届出を義務化した2007年以降で過去最高を更新しました。製造業で働く技能実習生やサービス業で働く留学生らが増加し、若年労働者不足に悩む企業を…深刻な人手不足による職場を外国人で補う構図が強まっています。

日本全体の就業者に占める割合は2012年の1.1%から2%に増え、働く人の50人に1人が外国人労働者という計算になります。国籍別では中国が37万2263人で全体の29.1%を占め、ベトナムは18.8%、フィリピンは11.5%と続き、伸び率はベトナムが最も高く前年同期比では約4割増えています。この傾向を見ると中国が減少傾向でベトナムが増加…この理由は中国の人件費が高くなり日本で働くのに能力のある人材が集まりにくい状況にある事が分かります。一方、ベトナムは発展途上であり且つ日本人に対する親近感と真面目さを買われて伸びています。

受入れる国・人の特徴)

外国人労働者を受入れるにしても国の文化や習慣の違いによって特徴があります。

■中国

一般的に中国人は初めての人に対しては大丈夫か？と疑ってかかります。極端に言えば人を見たら盗人と思えと言うくらい他人を簡単に信じません。人と付き合う場合は用心をした方が良くと考えているのが中国人の特徴で、また総じて自己主張が激しいですが、働き者が多くお金を大事にします。また、中国は広いので北と南では全く体格や性格も異なります。北の人は体格が大きく真面目ですが、真面目は反面喧嘩早いのです。南の人は頭が良く回り商売上手ですが、人を騙す事が多いと言われています。同じ漢字圏なので日本語の取得が早いです。

■ベトナム

元々中国の植民地であった関係上、性格や行動は中国の縮図と言ってよい程似ています。ここも北と南で性格が異なり北のハノイ周辺では真面目ですが少し暗い面があります。中央の山岳地帯は低位に置かれているため、日本に来日した場合は生活が楽な為に行方をくらす人が比較的多く出てきます。南のホーチミン周辺(旧サイゴン)では明るい人が多く商売人的です。総じて器用で、向上心や向学心が旺盛、近眼的でカカア天下です。

■タイ

微笑みの国タイで代表される言葉に「マイペンライ」があります。「マイ」はノー、「ペンライ」は問題という意味ですので直訳すると「問題ない、大丈夫」となりますが、他にも「気にしない」「なんでもない」「どういたしまして」などの意味合いを持ち、時には相手の事を悪く言う時に出てくる「マイペンライ」には「もう嫌、喋りたくない」というキツイ言葉にもなり、状況により意味が色々あり厄介なのです。この言葉の通りポジティブで大らかな「マイペンライ気質」と言っても良いでしょう。

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

■ミャンマー

敬虔(けいけん)な仏教徒の国です。現世で功德を施せば来世に良い事があると信じている国です。ここでは日本の江戸時代のような寺子屋があり無料の教育を受ける事が出来ます。それ故に私達が思っているような超低開発で知識のない、文盲の多い国では決してありません。そのうえ太平洋戦争中のビルマ(現ミャンマー)の独立運動を支援した日本軍の南機関故か、東南アジアの中でも日本と日本人に対して超親日国です。彼等の気質は親を敬い親には反対しません。性格は至って温和で控えめ、目上の人に対しては常に尊敬の念を抱くので上司に対しても同様です。提案する事はあっても自己主張を展開して反論するような場面はまずありません。絶対服従という訳ではありませんが指示されれば速やかに遂行しようと努力してくれます。ましてや大風呂敷を広げることはありません。ここまで書くと「本当?」と疑われるかもしれませんが、声を荒げたりする事もなく常に相手に不快な思いをさせないというのが心情で日本人とよく似ていると思います。

筆者は実習生を含め外国人労働者として受入れるのはミャンマーが最良な国の一つとして考えています。

当組合では外国人実習生の受入れが成功に結び付くように、入れよう思う外国、外国人の特徴や習慣、受入れる場合の注意事項などのご相談にお応えさせて頂いております。

興味のある方や実習生の受入れを考えている企業様はお問合せ下さい。

国際ビジネス情報協同組合

073-476-3939

日銀人事～黒田総裁

2月16日、政府は4月8日に任期満了となる日銀の黒田東彦総裁を再任する国会同意人事案、合わせて副総裁に日銀の雨宮正佳理事と早大の若田部昌澄教授を充てることを提示しました。

黒田氏が総裁になってからを振り返ってみましょう。

黒田氏が総裁になった2013年の日銀総裁就任の数日後、大規模な資産購入プログラムを無期限で開始しました。日銀の消極姿勢でデフレを許した20年間からの決別。多くの否定的な声を無視し黒田総裁は日銀を行動に立ち上がらせましたが、その結果は急激な円安と株価の急上昇でした。これを受け輸出主導の企業が急激に回復し日本は1980年代末以来の好況を迎えました。

総裁就任後、金融緩和策を導入時に自らが「2年程度で2%のインフレ目標を達成する」と公約を明言しましたが、達成どころか6回に渡って先送りされて5年経っても目標達成には程遠いものです。また2014年には消費税を5%から8%に引き上げた際には、財務省が「経済対策を打てば消費はすぐに戻る」と説明し黒田総裁もこれを容認しました。折角の任期1年目に生み出そうとしたインフレへの勢いを削ぐことになり、これではダメだと10月には更なる金融緩和策をしたのですが最早手遅れとなってしまったのです…黒田氏の財務省寄りを安倍首相は懸念?

さて、黒田総裁はなぜ再再選となったのか…安倍首相が政権戦略と関係!?

2019年10月に消費税を10%に上げると2019年～2020年に景気が一気に落ち込み、19年には統一地方選があります。大規模な大型補正予算で景気を下支えする必要がある、黒田総裁と若田部氏を起用するのは日銀の低金利政策を維持し、出口戦略即ち金融緩和の縮小(マイナス金利であるので通常の金利に戻す米国が既に表明)をしようとする、景気が落ち込む恐れがあるからです。

この人事は金融緩和を主張する所謂「リフレ派」(参考参照)を採用したのもこの為です。黒田総裁が次の任期5年を全うすれば在任10年で、法王と呼ばれた一万田尚登氏の8年6ヵ月を抜き歴代最長となります。

黒田総裁が続投する見通しとなり現行の長短金利操作付き量的・質的緩和策が、年内継続することはほぼ間違いないでしょう。昨年からの市場の一部で出ていた政策の正常化や修正の思惑は後退し、現行の大規模な緩和政策からの出口戦略は遠くなり、今後は日銀の国債買い入れによる需給逼迫の思惑を背景とした金利低下が続く事になるでしょう。

更に欧米の中央銀行は金融緩和からの撤退(正常化)に入っており、アメリカのFRBは量的緩和を終了し既に5度の利上げを実施。ヨーロッパのECBも緩和の縮小を着々と進め欧米との方向性の違いが更に明確になります。そうなると中期的には「円安・ドル高」基調で推移するでしょう。



一方、本音では緩和を縮小したい日銀ですが、黒田公約に縛られている「アナウンスなき政策転換」を余儀なくされる事になるのではないのでしょうか?

参考) リフレ派

リフレーションとは「通貨再膨張」と訳され、通貨膨張政策を摂る人たちをリフレ派と言いますが、デフレーション(物価が下がる状態)からインフレーション(物価上昇状態)になる事を指します。金融政策においてマイルドなインフレになるように誘導する政策を摂る事を言います。

リフレ派はインフレターゲット(インフレ目標、黒田総裁は2%を明示)を設定し大規模な金融緩和を行うことを市場(国民と言っても良い)に宣言し、インフレ期待を抱かせる手法を摂る人々達を指します。実際的にはお金を市場に供給させる方法は長期国債・外国債券・株式など従来の短期証券以外の資産を購入する事で円安を進めるなどをする事です。

韓 国～冬季オリンピック後は!?

冬季五輪終了後、果たして朝鮮半島はどうなるのか!?

平昌オリンピックでは北朝鮮のパフォーマンスに目を奪われたのは私だけでしょうか?

北朝鮮の微笑み外交の狙いは何なのか…言うまでもなく文大統領をうまく懐柔する事ではないのでしょうか?

北朝鮮は文大統領を手懐け、北朝鮮に圧力をかけた米国との関係を分断しようとしているのではないのでしょうか…北朝鮮は金委員長(金正恩)の妹である金与正氏、北朝鮮ナンバー2の金永南氏を派遣し韓国との友好を世界にアピールしました。仮に米国と韓国を分断し韓国に配備された米軍の高高度迎撃ミサイルシステム(サード)を撤去させれば喜ぶのは北朝鮮と中国です。北朝鮮にすれば韓国と仲良くなり中国にも良い恰好が出来る…まあそんな事はなかろうか…。

昨年12月上旬、中国は朝鮮半島の有事に備え吉林省中朝国境である吉林省長白朝鮮族自治権や省内の2つの都市に難民キャンプが建設されるという…建設計画の詳細は通信工事を請け負った中国の通信大手チャイナ・モバイルの内部資料がインターネットに流出し明らかになりました。

その数日後、ニューヨークタイムズ紙が図們市(ともんし)と琿春市(こんしゅんし)にも難民キャンプの建設が予定されていると報道、この場所は中国北部吉林省の延辺朝鮮族自治区が目先の先です。(朝鮮族が吉林省に多いのは太平洋戦争当時開拓団、軍属などとして朝鮮族(元日本人)が移住したものです)

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

国境地帯の関係者によると、最近吉林省の軍管理区域内では駐留軍向けの新たな居住施設が建設されており、3階建て程度の低層住宅でシャワーなどは共用の一般的な兵舎だといいます。これらの情報は真実だと思える…というのは、ティラーソン米 국무長官は12月の講演で半島有事の際の難民対策や核兵器の管理について既に中国と協議したと明らかにしているからです。その上ティラーソン氏は仮に米軍が北緯38度線を越えて北朝鮮に侵攻した場合でも、条件が整えば次第撤退することを中国に確約したとも説明しています。



という事は、米中が既に一定の事前調整に入っている事が確認されているのです。

中国は北朝鮮を見限った…こんな事を金正恩が知らないはずがない、北朝鮮は石油などの物資が国連での制裁措置で供給されず経済というより生活が成り立たなくなっているのが相当焦っている事が予想されます。

韓国の文大統領はオリンピックを突破口として北朝鮮との関係を良好にしようと考えている事は間違いありません、確かに仲良くするのは良いことですが北朝鮮の微笑み外交とは裏腹に握手する反対の手には核爆弾と大陸間弾道ミサイルを持っている事を忘れてはなりません。

金正恩は核爆弾とミサイルと放棄する気が少しでもあるのでしょうか!?

答えはノーです。刀を首筋にあてられてこそ初めて放棄するかどうかを考えるでしょう。要は徹底的に圧力を加えない事には対話は無意味という事です。現在の状況の下で良い子ぶって文大統領が旗を振っても北朝鮮が利するだけです。この利するとは意味が幾つかあります。

一つは交渉している間に核の開発、弾道弾を完成させる時間を作る

もう一つは文大統領と仲良くして米国と韓国の仲を裂くという構図、中国との関係を良くしようとする事です。各国が外交上、何を考えているのか知ってみましょう。

日本)

2月17日、河野外務大臣はミュンヘンで米国が北朝鮮と核・ミサイル問題を巡る本格的な交渉に入る前に議題の設定を話し合う予備的協議について必要性を否定しませんでした。「核とミサイルを放棄して対話のテーブルに着くと伝える意味で接触は大事だ」と述べました…日本は決して好戦的な国ではないですよという事をアピール!!



同時に北朝鮮との協議に関し「いま対話をする事で得るものはないというのが日米韓の共通認識だ」と指摘し圧力重視の姿勢を強調しました。

…しかし圧力を加えないと動かない国は北朝鮮ですよ!!

米国)

トランプ大統領は北朝鮮政策が対話に繋がったと自画自賛「対話が良い事だ」と述べています。韓国、北朝鮮との会談の成果に期待しているとも述べています。

韓国)

文政権はオリンピックを契機に北朝鮮との平和的解決を望んでいます。それは南北統一…本当に出来ると考えているのでしょうかね。

最前列左からファッションが話題となったサムジョン管弦楽団団長玄松月氏→北朝鮮ナンバー2の金永南氏→金正恩の妹金与正氏→韓国文大統領→文大統領夫人



中国)

北朝鮮の金正恩の余りに身勝手な行動に我慢の限界を超えコントロールが出来ないと感じている中国。中国が北朝鮮を生かしておくのは自由圏の韓国とのクッション的役割になっているからですが、北朝鮮が言うことを聞かない事にウンザリ模様の中国ですが、北朝鮮を言う事を聞く政権にしたいと考えています。

ロシア)

ロシアと中国は最大の脅威は日米同盟と考え北朝鮮は自由諸国との緩衝国家なのです。しかし金正恩にも問題があり困ったものです。ぶっ潰れないように…コソコソと少しの援助をしておくか…との考えです。

北朝鮮)

米国の言う事を聞き核と I C B M を放棄すれば李場のカダフィのように抹殺される…絶対に核は放棄しないというのが金正恩の考えです。

中国に関しては絶対的な信用はなく、金正恩が北朝鮮で一番になるとき…中国は金正恩が暗殺した兄を金正日の後釜にしようとしたのではないか…そこで暗殺した。

日本対韓国

文大統領の誤算はここから始まりました。冬季オリンピックの開幕式に先立って行われた日韓首脳会談で安倍首相は「(日韓合意は)最終的かつ不可逆的に解決したとの意であり、国と国の約束は二国間関係の基盤である」として慰安婦問題の解決を文大統領に迫りました。これに対し文大統領は①日韓合意は破棄しない②再交渉しない③合意に基づき設立された韓国の「和解・癒し財団」を解散しない④日本が拠出した10億円は返還しない…ことを表明しました。ただ文大統領は合意を受入れていない元慰安婦がいるなどとして慰安婦問題は解決していないとの認識を示しました。また安倍首相に解決に向けた協力を呼びかけましたが安倍首相は応じませんでした。



また、北朝鮮のオリンピック参加を人質にとられる形で延期されている米韓軍事演習についても「延期すべきではない」と述べ、これに対して文大統領は「我が国の主権、内政の問題だ」と不快感を示しました。文大統領にオリンピックを利用した会談で痛い事がまだまだありました。

マイク・ペンス米副大統領は開幕式の前に各国の首脳らが招かれたレセプションの場で、ヘッドテーブルに設けられた席に座ることなく5分程で退出しました。そのテーブルには文大統領夫妻、安倍首相らと共に北朝鮮の金永南最高人民会議常任委員長が座る事になっていましたが、ペンス氏は金氏と目を合わせる事なく退出したのです。

韓国の中央日報（中道保守系）までもが憂慮していた事が起こってしまった…韓米同盟の隙間を見せる事件が文大統領主催のレセプション行事でおきたのだ…韓国政府が期待した米朝の偶然的接触は雲散霧消した…と。

まだまだあります、先に書いた通りペンス米副大統領と北朝鮮ナンバー2の会談が北朝鮮のドタキャンによって実現しなかった事です。結局日本に嫌ごを言われ米国に付き放され、北朝鮮にはドタキャンされ…と踏んだり蹴ったりされた外交でした。

全ての国全部に満足させられる道などない…各国それぞれ身勝手な事ばかりを考えているのだから。韓国と北朝鮮が一番近い国、北と南が道民族である韓国に対話が必要と言うと日本も対話が大事、平和的解決が大事と言わないと日本は交戦的な国と国際社会から言われてします。しかし実は北朝鮮に圧力をかけた後、核の放棄などを前提に対話を導き出さねば日・米・韓は核の恐怖に脅かされることとなります。確かに対話が必要であっても韓国の文大統領「対話路線」の出番は少し早いのでは？単に文政権を維持しようと躍起になっている政治的意図が伺えます。

オリンピック期間内に米国のペンス副大統領と北朝鮮代表団との会談の約束をしていましたが、会議が始まる予定時刻の2時間前に北朝鮮がドタキャンしました。これはペンス氏がその機会を通じて「北朝鮮が弾道ミサイルと核の違法な開発計画を放棄しなくてはならないのだと確実に伝えるつもりだった」という強硬な態度が見えたという理由で会談を取りやめたのではないかという観測です。このことは北朝鮮が如何に核と弾道ミサイルを大事にしているかが窺い知る事が出来ます。今度はトランプ大統領に娘のイバンカさんが韓国を訪問、トランプ大統領は強硬姿勢を見せる一方、話し合うとも言っているので今後どうなるのか目が離せませんね。

ここが大事…中国の対日戦略は日本を国際的に孤立させる事です。

- ① 日米を分断すること
- ② 日露を分断すること
- ③ 日韓を分断すること

中国は韓国をそそのかし慰安婦問題を持ち出したことから始まるのです。こうなると北朝鮮問題は米国・中国・ロシア・韓国・北朝鮮の間で解決されてしまうのではないかという懸念があります。北朝鮮が米国を標的にしない保証が得られれば金正恩の現体制を容認することにならないかという懸念です。トランプ大統領は米国第一主義、米国に核兵器が飛んで来ないとなれば日本を突き放しはしないか…日本は自分の国は自分で守れ…日本は核武装すべきだ…などと発言しているのだから、こうなった場合は果たして日本はどうするべきかを考えておかなければなりません。やっぱり自国は自国で守らなきゃなりませんね!!

日本国・日本人に必要なのは、米国を絶対的の神のように頼りに出来ないということを悟る事が必要です。中国やロシアの本音は北朝鮮が核兵器を持つ事は悪い事ではないと思っています。その理由は中国やロシアにとって西側諸国である日米同盟と直接対峙することを避けるため「緩衝国家」「切り札国家」として北朝鮮が必要なのです。北朝鮮が核兵器を保有して日本に向けることは北東アジアの外交・安全保障における中国とロシアの立場を強化する事に繋がるのですから。

更に韓国は韓国で北朝鮮は元々同じ民族、北朝鮮に同じ民族が住み将来統一する事を一応想定

している土地に核兵器を向けることがないと思っています。

こう考えてみると日本の安倍首相はよくやっていますね!! ご苦労さまです!!

平昌オリンピック

優勝◇金メダル

スケート・スピードスケート	女子 500m	小平奈緒	4
	女子パシュート	高木美帆、菊池彩花、 佐藤綾乃、高木菜那	
	女子マススタート	高木菜那	
スケート・フィギュアスケート	男子シングル	羽生結弦	

2位◇銀メダル

スキー・ノルディック複合	ノーマルヒル個人	渡部暁斗	5
スキー・スノーボード	男子ハーフパイプ	平野歩夢	
スケート・スピードスケート	女子 1000m	小平奈緒	
	女子 1500m	高木美帆	
スケート・フィギュアスケート	男子シングル	宇野昌磨	

3位◇銅メダル

スキー・ジャンプ	女子ノーマルヒル個人	高梨沙羅	4
スキーフリースタイル	男子モーグル	原 大智	
スケート・スピードスケート	女子 1000m	高木美帆	
カーリング	女子団体戦	吉田夕梨花、鈴木夕湖、吉田知那 藤澤五月、本橋麻里	

メダリスト・入賞者合計

金	銀	銅	4位	5位	6位	7位	8位	合計
4	5	4	3	10	7	4	6	43

冬季オリンピックって何故か地味なイメージが無きにしも非ず…ですが、今回も日本選手団のお陰で目が釘付けになり楽しませて頂きました。

前半は北朝鮮と韓国の合同チームや美女応援団の訪韓などで世間を賑わせた後には日本人選手達の素晴らしい技に皆さんも惹き込まれたことでしょう。

最も人気があったのは羽生結弦選手と女子のカーリング選手でしょうか…昨年10月に右足を損傷し大丈夫かな…コケたらどうしよう…とドキドキしながらテレビに食いついていましたが、それはそれは美しすぎる熱演で素晴らしいものでした。氷上の貴公子とは羽生君のことですね!

2位の宇野昌磨選手も初オリンピックでミスもありましたが力強い演技で素晴らしかったです。日本のワンツーフイニッシュ、羽生結弦選手の五輪2連覇は日本人の誇りですね! 世界最高峰のフィギュアスケーターです!

それから女子のカーリング、今では北海道弁の「そうだね～」と真似をする人も多く流行っていますが、何よりも皆さんが美人で可愛くて人気急上昇です。第5エンドが終わった後のもぐもぐタイムではイチゴやリンゴを食べている姿が可愛らしいですが、その時に食べていた「赤いサイロ」という北海道のチーズケーキも即完売となり地域貢献も果たしています。

3人揃って滑るパシュートでは日本人ならではの繊細さやチームワークの強さを見ましたが、体

の小さい日本人ですが気配りができ団体行動に向いているのでしょね、本当に頑張ったと思います！

それから小平奈緒選手、競技もさることながら韓国のイ・サンファ選手への気遣いには涙しました。金メダルをとり喜びの余り周りが見えなくなる事もあるでしょうが、ライバルへの配慮…中々出来る事ではありません。これには韓国メディアも大きく取り上げ小平奈緒選手を称賛しています。対戦相手に敬意を払う…これぞスポーツマンシップですね!!

まだまだ活躍した選手がいます、寒かっただろうに、プレッシャーもあっただろうに…本当にお疲れ様、ご苦労様でした。日本の経済が暗いなあ～と思っていた所に頑張れば何とかなる！日本人もまだまだこれからだ！日本人は大したものだ!! と勇気と元気をもらいました。

ありがとう!! 日本人選手!!

さて、次は2020年の東京オリンピックです。

和歌山には東京オリンピックに向けて強化選手に選ばれた2人の高校生がいます。

オリンピック新種目になったスケートボード…ゆるいファッションで路上を滑るイメージがありますが正にその通り!! 公園の手すりや坂道、階段やおわん型の専用スペースなどで滑っているのを見かけますよね。

1人はプロのスケートボーダーとして既に活躍している平松凱君、もう一人は女の子で四十住さくらちゃん、どちらも高校1年生で注目されている選手です。

さくらちゃんは知人のお嬢さんですが、高校生になってからは通学時間も長くなり練習時間が短くなるものの、休みの日には他府県にまでスケートボード専用練習場を目指してお母さんと車で走るそうです。

それはそれは子供に熱心なご両親で、13歳離れた兄も協力と応援を惜しみなく注ぎオリンピック強化選手に選ばれたことだと思います。

和歌山から素晴らしい選手が誕生するなんて本当に素晴らしい事です。

若い人のエネルギーをもらって私達もまだまだ頑張りましょう!

皆さん、応援宜しくお願い致します!!

アジアに関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp